

学習集団研究の現在 vol.1

2016年10月刊行

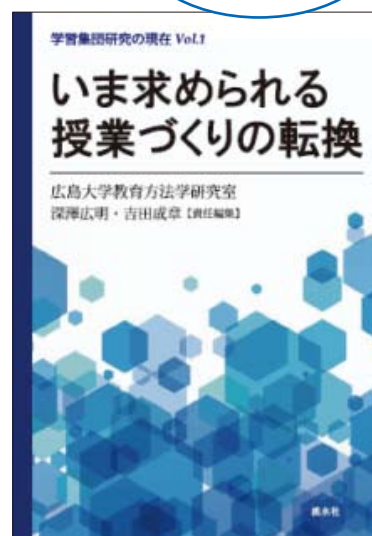
最新刊

いま求められる 授業づくりの転換

広島大学教育方法学研究室

(深澤広明・吉田成章 責任編集)

1800円



本書を直接ご注文の場合、2冊以上で送料無料。

アクティブラーニングの重要性が叫ばれる中、対話的、協同的な学び、集団思考が求められる一方で、それらの基盤となる集団のあり方自体が問われている。本書は、エビデンス思考の言説が求められる今日にあって、教育学の根拠となりうる新たな教育研究をデザインするところから、学習集団研究の現在を問い直す。

刊行の辞にかえて—いま、なぜ、「学習集団研究の現在」なのか……………深澤広明

《第1部 グローバル時代の教育改革で求められる学習集団による授業》

- 第1章 コンピテンシーによる教育のスタンダード化の中の学習集団研究の課題……………中野和光
- 第2章 生成的学習集団への転換……………子安 潤
- 第3章 インクルーシブ授業としての学習集団……………湯浅恭正
- 第4章 アクティブ・ラーニングと学習集団研究……………久田敏彦

《第2部 学習集団づくりによる授業の改造—実践記録とキーワードの再定義》

- 第1章 子どもたちが出会い直すための指導的評価活動：「評価」の再定義…長谷川清佳・八木秀文
- 第2章 子どもたちと達成感を共有する班づくり：「班」の再定義……………山口 隆・宮原順寛
- 第3章 魅力ある発問づくりにつながる教材研究：「発問」の再定義……………小泉 靖・佐久間敦史
- 第4章 子どものニーズをふまえた全員参加の授業づくり：「全員参加」の再定義……………竹内 元

《第3部 学習集団研究の最前線》

- 第1章 教育実践史研究のなかの学習集団……………豊田ひさき
- 第2章 教科教育と学習集団：国語の授業と集団の指導
—教科内容が求める学習集団という見方で再検討する……………阿部 昇

あとがきにかえて—学習集団研究の「現在」に向けて……………吉田成章

【執筆者】……………

深澤広明（広島大学）、中野和光（美作大学）、子安 潤（愛知教育大学）、湯浅恭正（中部大学）、久田敏彦（大阪青山大学）、長谷川清佳（広島県公立小学校）、八木秀文（安田女子大学）、山口 隆（長崎県公立小学校）、宮原順寛（北海道教育大学）、小泉 靖（大阪府公立小学校）、佐久間敦史（大阪教育大学）、竹内 元（宮崎大学）、豊田ひさき（中部大学）、阿部 昇（秋田大学）、吉田成章（広島大学）